

# 円周等分点の正弦・余弦の和は 0

ふじもと たかし  
藤本 隆

## §1. はじめに

生徒が三角関数の問題について質問に来た。ある問題の解説におよそ次のような記述があり、

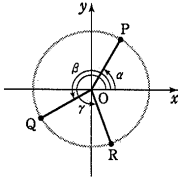
「……略……点 P, Q, R は円周を三等分しているから、半径 OP, OQ, OR が x 軸の正方向となす角を  $\alpha, \beta, \gamma$  とすると、

$$\begin{aligned} \sin \alpha + \sin \beta + \sin \gamma \\ = \cos \alpha + \cos \beta + \cos \gamma = 0 \end{aligned}$$

である。したがって……略……」

ここが解らないと言う。

これは、例えば次のように容易に説明できる。

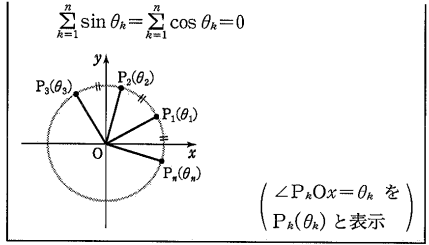


$$\begin{aligned} \sin \alpha + \sin \beta + \sin \gamma \\ = \sin \alpha + \sin(\alpha + 120^\circ) + \sin(\alpha + 240^\circ) \\ = \sin \alpha + 2\sin(\alpha + 180^\circ)\cos(-60^\circ) \\ = \sin \alpha - \sin \alpha = 0 \\ \cos \alpha + \cos \beta + \cos \gamma \\ = \cos \alpha + \cos(\alpha + 120^\circ) + \cos(\alpha + 240^\circ) \\ = \cos \alpha + 2\cos(\alpha + 180^\circ)\cos(-60^\circ) \\ = \cos \alpha - \cos \alpha = 0 \end{aligned}$$

生徒が納得して教室に戻った後、私は「これは三等分に限らず成り立つのではないか」と感じ、本稿の考察を試みた。このテーマは次のように表される。

## §2. 一般論に拡張

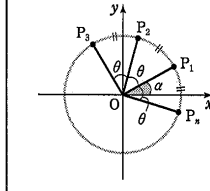
単位円周を  $n$  等分 ( $n$  は 2 以上の整数) する点を  $P_1, P_2, P_3, \dots, P_n$  とし、半径  $OP_k$  ( $k=1, 2, 3, \dots, n$ ) が  $x$  軸の正方向となす角を  $\theta_k$  とすると、



これは次のように表しても同値である。

$\theta = \frac{2\pi}{n}$  ( $n$  は 2 以上の整数) のとき、任意の角  $\alpha$  について

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \sin(\alpha + (k-1)\theta) \\ = \sum_{k=1}^n \cos(\alpha + (k-1)\theta) = 0 \end{aligned}$$



以下、いくつかの私の証明を記す。

【証明(4)】は複素数平面を用いているので新教育課程の範囲外だが、最近までは課程内であったので取り上げた。

【証明(5)】は全く範囲外だが、最近話題の「博士の愛した数式」を用いているので取り上げた。

## §3. いろいろな証明

【証明(1)】

$S = \sum_{k=1}^n \sin(\alpha + (k-1)\theta)$  とおき、両辺に  $2\sin\frac{\theta}{2}$  をかけると

$$\left(\sin \frac{\theta}{2} = \sin \frac{\pi}{n} \neq 0 \dots\dots \textcircled{1}\right)$$

$$\begin{aligned} 2S \sin \frac{\theta}{2} &= \sum_{k=1}^n 2 \sin \left\{ \alpha + (k-1)\theta \right\} \sin \frac{\theta}{2} \\ &= -\sum_{k=1}^n \left\{ \cos \left( \alpha + \frac{2k-1}{2}\theta \right) - \cos \left( \alpha + \frac{2k-3}{2}\theta \right) \right\} \\ &= \sum_{k=1}^n \left\{ \cos \left( \alpha + \frac{2k-3}{2}\theta \right) - \cos \left( \alpha + \frac{2k-1}{2}\theta \right) \right\} \\ &= \left\{ \cos \left( \alpha - \frac{1}{2}\theta \right) - \cos \left( \alpha + \frac{1}{2}\theta \right) \right\} \\ &\quad + \left\{ \cos \left( \alpha + \frac{1}{2}\theta \right) - \cos \left( \alpha + \frac{3}{2}\theta \right) \right\} + \dots\dots \\ &\quad + \left\{ \cos \left( \alpha + \frac{2n-3}{2}\theta \right) - \cos \left( \alpha + \frac{2n-1}{2}\theta \right) \right\} \\ &= \cos \left( \alpha - \frac{1}{2}\theta \right) - \cos \left( \alpha + \frac{2n-1}{2}\theta \right) \\ &= -2 \sin \left( \alpha + \frac{n-1}{2}\theta \right) \sin \left( -\frac{n\theta}{2} \right) \\ &\quad \left( \theta = \frac{2\pi}{n} \text{ より } \frac{n\theta}{2} = \pi \text{ であるから} \right) \\ &= 2 \sin \left( \alpha + \frac{n-1}{2}\theta \right) \sin(-\pi) \\ &= 0 \end{aligned}$$

よって、 $2S \sin \frac{\theta}{2} = 0$

①より  $S=0$

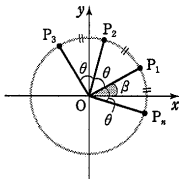
すなわち  $\sum_{k=1}^n \sin \{ \alpha + (k-1)\theta \} = 0$

ここで、 $\alpha$  を  $\alpha + \frac{\pi}{2}$  におきかえると

$$\sum_{k=1}^n \cos \{ \alpha + (k-1)\theta \} = 0$$

**【証明(2)】**

単位円周上の  $n$  等分点 ( $n$  は 2 以上の整数) を  $P_k$  ( $k=1, 2, 3, \dots, n$ ) とし、半径  $OP_k$  が  $x$  軸の正方向となす角を  $\theta_k$  とおくと、(ただし、 $P_{n+1}=P_1$ ,  $\theta_{n+1}=\theta_1=\beta$  とする)



$$\theta_k = \beta + (k-1)\theta \quad \left( \theta = \frac{2\pi}{n} \right)$$

$$\begin{aligned} &\sum_{k=1}^n (\cos \theta_{k+1} - \cos \theta_k) \\ &= -2 \sum_{k=1}^n \sin \frac{\theta_{k+1} + \theta_k}{2} \sin \frac{\theta_{k+1} - \theta_k}{2} \\ &= -2 \sum_{k=1}^n \sin \left( \beta + \frac{2k-1}{2}\theta \right) \sin \frac{\theta}{2} \\ &= -2 \sin \frac{\theta}{2} \sum_{k=1}^n \sin \left( \beta + \frac{2k-1}{2}\theta \right) \dots\dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

また

$$\begin{aligned} &\sum_{k=1}^n (\cos \theta_{k+1} - \cos \theta_k) \\ &= (\cos \theta_2 - \cos \theta_1) + (\cos \theta_3 - \cos \theta_2) \\ &\quad + \dots\dots + (\cos \theta_{n+1} - \cos \theta_n) \\ &= \cos \theta_{n+1} - \cos \theta_1 \\ &= \cos \theta_1 - \cos \theta_1 = 0 \dots\dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

①, ②より

$$-2 \sin \frac{\theta}{2} \sum_{k=1}^n \sin \left( \beta + \frac{2k-1}{2}\theta \right) = 0$$

ここで  $\sin \frac{\theta}{2} = \sin \frac{\pi}{n} \neq 0$  であるから、

$$\sum_{k=1}^n \sin \left( \beta + \frac{2k-1}{2}\theta \right) = 0$$

$$\therefore \sum_{k=1}^n \sin \left\{ \left( \beta + \frac{1}{2}\theta \right) + (k-1)\theta \right\} = 0$$

$\beta$  は任意の角であるから  $\beta + \frac{1}{2}\theta = \alpha$  とおくと

$$\sum_{k=1}^n \sin \{ \alpha + (k-1)\theta \} = 0$$

$\alpha$  を  $\alpha + \frac{\pi}{2}$  におきかえると

$$\sum_{k=1}^n \cos \{ \alpha + (k-1)\theta \} = 0$$

**【証明(3)】**

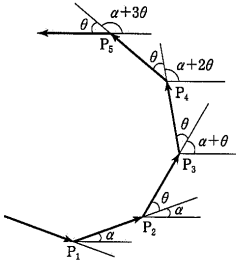
$$\theta = \frac{2\pi}{n}, \theta_k = \alpha + (k-1)\theta \text{ とする。}$$

(i)  $n=2$  のとき

$$\begin{aligned} \sin \theta_1 + \sin \theta_2 &= \sin \alpha + \sin (\alpha + \pi) \\ &= \sin \alpha - \sin \alpha = 0 \\ \cos \theta_1 + \cos \theta_2 &= \cos \alpha + \cos (\alpha + \pi) \\ &= \cos \alpha - \cos \alpha = 0 \end{aligned}$$

(ii)  $n \geq 3$  のとき

辺の長さが 1 である正  $n$  角形  $P_1P_2P_3 \dots P_n$  において、 $\vec{P_1P_2}$  が  $x$  軸の正方向となす角を  $\alpha$  とおき、この正  $n$  角形の 1 つの外角を  $\theta$  とおくと、 $\theta = \frac{2\pi}{n}$  であるから



$\overrightarrow{P_k P_{k+1}}$  (ただし,  $P_{n+1}=P_1$ ) が  $x$  軸の正方向となす角は  $\alpha + (k-1)\theta$  である。よって

$$\overrightarrow{P_k P_{k+1}} = (\cos\{\alpha + (k-1)\theta\}, \sin\{\alpha + (k-1)\theta\})$$

したがって

$$\begin{aligned} & \sum_{k=1}^n \overrightarrow{P_k P_{k+1}} \\ &= \sum_{k=1}^n (\cos\{\alpha + (k-1)\theta\}, \sin\{\alpha + (k-1)\theta\}) \\ &= \left( \sum_{k=1}^n \cos\{\alpha + (k-1)\theta\}, \sum_{k=1}^n \sin\{\alpha + (k-1)\theta\} \right) \end{aligned}$$

ここで  $\sum_{k=1}^n \overrightarrow{P_k P_{k+1}} = \vec{0} = (0, 0)$  であるから

$$\sum_{k=1}^n \cos\{\alpha + (k-1)\theta\} = \sum_{k=1}^n \sin\{\alpha + (k-1)\theta\} = 0$$

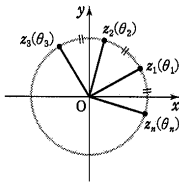
(i), (ii)より, 2以上のすべての整数  $n$  について

$$\sum_{k=1}^n \sin\{\alpha + (k-1)\theta\} = \sum_{k=1}^n \cos\{\alpha + (k-1)\theta\} = 0$$

#### 【証明(4)】

複素数平面上の単位円で, 点  $P_k$  と角  $\theta_k$  を

【証明(2)】と円様に定め, 点  $P_k$  が表す複素数を  $z_k$  とすると



( $\arg z_k = \theta_k$  を)  
( $z_k(\theta_k)$  と表示)

$$z_k = \cos \theta_k + i \sin \theta_k$$

また,  $z_k$  は方程式  $z^n = a$  ( $|a|=1$ )

の解であるから

$$\begin{aligned} z^n - a &= (z - z_1)(z - z_2)(z - z_3) \cdots (z - z_n) \\ &= z^n - (z_1 + z_2 + z_3 + \cdots + z_n)z^{n-1} \\ &\quad + (z_1 z_2 + z_1 z_3 + \cdots + z_n z_{n-1})z^{n-2} \\ &\quad + \cdots + (-1)^n z_1 z_2 z_3 \cdots z_n \end{aligned}$$

これは  $z$  についての恒等式だから, 各係数が一致す

る。よって  $z_1 + z_2 + z_3 + \cdots + z_n = 0$

すなわち,  $\sum_{k=1}^n z_k = 0$  であるから

$$\sum_{k=1}^n (\cos \theta_k + i \sin \theta_k) = 0$$

$$\therefore \sum_{k=1}^n \cos \theta_k + i \sum_{k=1}^n \sin \theta_k = 0$$

$\sum_{k=1}^n \cos \theta_k, \sum_{k=1}^n \sin \theta_k$  は実数であるから

$$\sum_{k=1}^n \cos \theta_k = \sum_{k=1}^n \sin \theta_k = 0$$

#### 【証明(5)】

$$\theta = \frac{2\pi}{n}, \theta_k = \alpha + (k-1)\theta \text{ とする。}$$

$$\begin{aligned} & \sum_{k=1}^n \cos \theta_k + i \sum_{k=1}^n \sin \theta_k \\ &= \sum_{k=1}^n (\cos \theta_k + i \sin \theta_k) \\ &\quad (\text{オイラーの公式 “} e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta \text{” より}) \\ &= \sum_{k=1}^n e^{i\theta_k} = \sum_{k=1}^n e^{i(\alpha + (k-1)\theta)} \\ &= \sum_{k=1}^n e^{i(\alpha - \theta)} e^{i k \theta} = e^{i(\alpha - \theta)} \sum_{k=1}^n e^{i k \theta} \\ &= e^{i(\alpha - \theta)} \sum_{k=1}^n (e^{i\theta})^k = e^{i(\alpha - \theta)} \times \frac{e^{i\theta}(1 - (e^{i\theta})^n)}{1 - e^{i\theta}} \\ &= \frac{e^{i\alpha}(1 - e^{i n \theta})}{1 - e^{i\theta}} = \frac{e^{i\alpha}(1 - e^{i 2\pi})}{1 - e^{i\theta}} \\ &= \frac{e^{i\alpha}(1 - (e^{i\pi})^2)}{1 - e^{i\theta}} \cdots \cdots \textcircled{1} \end{aligned}$$

ここで, 「オイラーの公式」より

$$e^{i\pi} = \cos \pi + i \sin \pi = -1$$

(“ $e^{i\pi} = -1$ ” は「博士の愛した数式」)

であるから,

$$\textcircled{1} \text{より } \sum_{k=1}^n \cos \theta_k + i \sum_{k=1}^n \sin \theta_k = \frac{e^{i\alpha}\{1 - (-1)^2\}}{1 - e^{i\theta}} = 0$$

$\sum_{k=1}^n \cos \theta_k, \sum_{k=1}^n \sin \theta_k$  は実数であるから

$$\sum_{k=1}^n \cos \theta_k = \sum_{k=1}^n \sin \theta_k = 0$$

#### 【参考文献】

- [1] オイラーの贈物 人類の至宝  $e^{i\pi} = -1$  を学  
お 吉田武著 ちくま学芸文庫
- [2] 博士の愛した数式 小川洋子著 新潮社
- [3] 世にも美しい数学入門 藤原正彦・小川洋子  
著 ちくまプリマー新書
- [4] 数学小辞典 共立出版株式会社

(東明館学園・玄界高校)